

## 認知症に関する活動計画（概要）

北海道作業療法士会では、認知症に関する活動は本会地域部に配置されている認知症施策推進課が担っている。主な活動は①人材育成事業、②広報事業、③調査事業、④渉外事業である。①では認知症に特化したUD研修と重点課題研修から基礎研修、実践研修(OJT)への移行中である。②では士会ニュースへのコラムの掲載の他、実践事例集（ver1.0、ver1.1）を発刊し、今後も事例を追加し継続発行予定である。③ではUD研修参加者を対象に臨床での取り組みを調査した。今後、実践研修内容に反映させていく予定である。④では関連機関への挨拶周りや産学官による地域密着型の事業の企画提案を検討中である。

## 重点課題研修の開催

昨年度は、「認知症高齢者の食べる喜びを支える摂食嚥下リハビリテーション」をテーマに、食べる視点から認知症の人への支援についての研修会をリモートで実施した。今年度もリモート開催であるが、認知症に関する基本的な知識や技術を学ぶ研修会と、認知症カフェの具体的な実践について学ぶ研修会を開催予定である。



## 地域部コラムの掲載

～地域共生社会に向け、地域で活躍できるOTを支援したい！～

## 北海道まるごとOT計画

士会員への広報事業として、2019年9月より「北海道にひまわりの種をまく」という認知症関連コラムを連載していたが、2022年7月より地域作業療法の推進を目的に「北海道まるごとOT計画」とタイトルを変え、地域部のコラムに移行した。今後は認知症の話題だけでなく、広大な北海道の各地域での取り組みなどを発信する予定である。

## 作業療法士が関与する認知症施策の実践事例集事業 令和3年度追加版の発刊

認知症施策に作業療法士が関与する際の参考にする目的で、北海道内の作業療法士の実践事例についてGoodPractice(GP)を用いてまとめた事例集の追加版を発刊した。

普及啓発として、会員に対してはHPからのDLでの配布を行い、北海道や各市町村及び地域包括支援センターに対しては冊子の配布を行う。さらに、他職種や住民向けに本事例集を使用した研修や講話を行うなど、道民に対する公益的な事業について、継続して企画・検討を行っている。

北海道における作業療法士が関与する

認知症施策の実践事例集 Ver.1.1

令和3年度 追加版



2022（令和4）年3月

公益社団法人 北海道作業療法士会

地域部認知症施策推進課

## COVID-19の影響・対応など

本会地域部は地域推進課、企画運営課、認知症施策推進課の3課があり、総勢20名の大所帯である。地域部と統合して3年目となるが、COVID-19の影響により、対面での会議はもとより合同会議も一度も行っていないことから、今年度下半期ではリモートによる合同会議を実施予定である。地域の様々な課題の共有、研修会の在り方、本部と支部の組織編成などアフターコロナを見据えた事業展開を議論していく予定である。